

日本と中国の‘ひと’の架け橋に

～グローバル人材と情報のプラットフォームを目指して～



インタビュー vol.4

◆会員プロフィール◆

会 員 名：趙 海鷹（東大阪西支部）
会 社 名：(株)Sea Hawk International
ホームページ：http://www.seahawk.co.jp/

——現在の事業について簡単に教えていただけますか？

主に、海外へ積極的に進出している日系企業及び外資系企業の日本進出などグローバルに事業展開している企業を中心に、海外や新分野へ進出する際に必要となる人材を、国内外問わず、その企業のニーズに合わせて紹介するという事業を行っています。

紹介する方は、弊社へ登録されたリストの中から紹介する場合もありますし、提携企業や企業のOBからのご紹介、またはヘッドハンティングといった場合もあります。

——何がきっかけで、人材紹介のお仕事を選ばれたのですか？

日本の大学に通いながら貿易会社で貿易事務のアルバイトしていた頃「友人の留学生を紹介してほしい」と頼まれました。留学生はふつう飲食業など語学力を活かせない仕事に就くことが多く、日本企業のオフィスで仕事ができるチャンスはとても少ない。私の紹介で、何人かの友人が日本企業で語学を活かし、貿易業務の仕事に就くことができたのです。紹介した会社、紹介された留学生、双方から喜ばれたことがとても嬉しかった。そのとき「紹介のパワーってすごい！」と思ったのです。その経験から就職活動では、人材業界に絞り、人材ビジネス会社に入社したのがきっかけです。独立まで、約7年間一貫してグローバル人材紹介に関わってきました。

——事業を行う上で、特に気を付けておられることはありますか？

グローバルに活躍する人材をご紹介する際、個人的には国籍や性別、語学力より、その人がグローバルな環境に適応できるかどうか、そこが最も大切だと思っています。

面接の際にも、転職してその人の持つ能力がさらに発揮されるかどうか、その点を見るようにしています。

中国語、韓国語、日本語と3か国語を自由に操り、外資系企業のR&D(研究開発)に携わる専門職などグローバル人材に特化した人材紹介業を行う(株)Sea Hawk Internationalの趙さんにお話を伺いました。

どんな人物でも、その背景にいろんな情報を持っています。ビジネスの情報であったり、仕事の知識であったり、人脈の情報であったり、その情報は様々です。

私は、私の会社をそういったいろんな情報が行きかう「情報のプラットフォーム」のような場所にし、高い知識や能力を持った人や企業が集まり交流することで、いろんな価値が生まれていく、そんな環境を提供できればいいなと考えています。

——日本の経営者の人たちに、何か期待することはありますか？

幸いにして私は、日本に来て沢山優しい人々に恵まれてきました。だから私は、日本や日本人が大好きです。日本の経営者の方々も、メディアの情報などに左右されず、もっと中国を含め他の国のいいところ(側面)を知ってほしいと思います。互いに知り合えばきっと仲良くなれるはずですよ。人を好きになることで、きっとその国のことも好きになってもらえると思います。

今は、中国の方が稼げる社会になったかもしれません。しかし、日本から学ぶことはまだまだ多く、日本の経営を学ぶため、数多くの中国人経営者たちが来日するようになっています。人材に対する投資意識もとても高くなっています。私の会社では、そうした人たちをお世話する仕事が増えつつあるのです。ぜひ日本の経営者の方たちには、最先端の中国も見えて頂ければと思います。そして、さらに激しく変化しているグローバル環境に適応する意識を高めることも重要かと思います。そのお役に立つためにも、私もさらに努力・勉強し、そして成長したいと思います。

インタビュー：日中経済交流研究会
坂元鋼材(株)
大山印刷(株)
村田社会保険労務士事務所
まとめ：(株)ギャラリーブルー

広報委員会
坂元 正三
大山 武久
村田 晃一
合田 耕作